

# 平成29年度 リスク評価(一次)評価 I で用いた生態影響データ

資料3-2

物質群で構成される優先評価化学物質では、有害性情報が得られなかった物質を含むことによる不確実係数(有害性情報の存在状況により10または100)を加味した。

(平成30年3月22日)

優先評価化学物質番号	優先評価化学物質名称	アミン類	物質群の補正係数を考慮した場合の評価値(C/D)	物質群の補正係数(D)	PNEC (C=A/B)	根拠		藻類(mg/L)				ミジンコ類(mg/L)				魚類(mg/L)				参考 【Ufs(B)の内訳】		
						最小値(mg/L)(A)	Ufs (B)	急性毒性値 (EC50)	EC50/Ufs (ACR+種間外挿)	慢性毒性値 (NOEC)	NOEC/Uf (種間外挿)	急性毒性値 (EC50)	EC50/Ufs (ACR+種間外挿)	慢性毒性値 (NOEC)	NOEC/Uf (種間外挿)	急性毒性値 (EC50)	LC50/Ufs (ACR+種間外挿)	慢性毒性値 (NOEC)	NOEC/Uf (種間外挿)			
178	飽和脂肪酸(C=8~18、直鎖型)のカリウム塩又は不飽和脂肪酸(C=18、直鎖型)のカリウム塩		5.7E-05	10	0.00057	0.57	1000					0.57	0.0057					9.19	0.00919			種間外挿のUF: 10 急性から慢性のUF: 10 室内試験から野外へのUF: 10
179	カリウム=ジエチルジチオカルバマート		-	-	0.00059	0.0593	100	0.24			0.0593	0.0059	0.13	0.013				0.79	0.0079			種間外挿のUF: 10 急性から慢性のUF: - 室内試験から野外へのUF: 10
180	2-(N-ドデシル-N,N-ジメチルアンモニオ)アセタート		-	-	0.00087	0.876	1000	3.81			0.73	0.146	1.99		0.29	0.058	0.876	0.00876				種間外挿のUF: - 急性から慢性のUF: 100 室内試験から野外へのUF: 10
181	N,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガ(別名マンネブ)		-	-	6E-05	0.003	50	0.033			0.003	0.0006	0.12	0.012			0.27		0.0061	0.0012	種間外挿のUF: 5 急性から慢性のUF: - 室内試験から野外へのUF: 10	
182	2,2-ジプロモ-2-シアノアセトアミド		-	-	0.00086	0.86	1000						0.86	0.0086			1		0.47	0.047	種間外挿のUF: 10 急性から慢性のUF: 10 室内試験から野外へのUF: 10	
183	N-[3-[オクタデカン(又はヘキサデカン若しくはテトラデカン)アミド]プロピル]-N-メチル-2-[オクタデカノイル(又はヘキサデカノイル若しくはテトラデカノイル)オキシ]エチルアンモニウムクロリド		-	-	0.00083	0.0083	10	0.051			0.0083	0.0083			0.02	0.02	4		1.7	1.7	種間外挿のUF: - 急性から慢性のUF: - 室内試験から野外へのUF: 10	
184	アルキル(C=12~16)(ベンジル)(ジメチル)アンモニウムの塩		8.4E-06	10	8.4E-05	0.0042	50					0.0059			0.0042	0.0008	0.515		0.0322	0.0064	種間外挿のUF: 5 急性から慢性のUF: - 室内試験から野外へのUF: 10	
185	ヘキシル=2-ヒドロキシベンゾアート		-	-	0.00035	0.357	1000					0.357	0.00357									種間外挿のUF: 10 急性から慢性のUF: 10 室内試験から野外へのUF: 10
186	カンフェン		-	-	0.0007	0.07	100	1.75			0.07	0.007	0.72	0.072			0.72	0.0072				種間外挿のUF: 10 急性から慢性のUF: - 室内試験から野外へのUF: 10
187	4,6,6,7,8,8-ヘキサメチル-1,3,4,6,7,8-ヘキサヒドロシクロペンタ[ <u>g</u> ]イソクロメン		-	-	0.0068	0.068	10	> 0.854			0.201	0.201			0.111	0.111			0.068	0.068	種間外挿のUF: - 急性から慢性のUF: - 室内試験から野外へのUF: 10	
188	α-アルキル(C=9~11)-ω-ヒドロキシボリ(オキシエチレン)(数平均分子量が1,000未満のものに限る。)		-	-	0.0070	1.4	200	1.4	0.070			2.1	0.21				3.9		1.01	0.202	種間外挿のUF: - 急性から慢性のUF: 20 室内試験から野外へのUF: 10	
189	α-アルキル(C=12~15)-ω-ヒドロキシボリ(オキシエチレン)(数平均分子量が1,000未満のものに限る。)		0.0005	10	0.005	0.05	10	0.09			0.05	0.05	0.1		0.06	0.06	0.48		0.37	0.37	種間外挿のUF: - 急性から慢性のUF: - 室内試験から野外へのUF: 10	

物質群で構成される優先評価化学物質では、有害性情報が得られなかった物質を含むことによる不確実係数(有害性情報の存在状況により10または100)を加味した。

(平成30年3月22日)

優先評価化学物質番号	優先評価化学物質名称	アミン類	物質群の補正係数を考慮した場合の評価値(C/D)	物質群の補正係数(D)	PNEC (C=A/B)	根拠		藻類(mg/L)				ミジンコ類(mg/L)				魚類(mg/L)			参考 【Ufs(B)の内訳】	
						最小値(mg/L)(A)	Ufs(B)	急性毒性値(EC50)	EC50/Ufs(ACR*種間外挿)	慢性毒性値(NOEC)	NOEC/UF(種間外挿)	急性毒性値(EC50)	EC50/Ufs(ACR*種間外挿)	慢性毒性値(NOEC)	NOEC/UF(種間外挿)	急性毒性値(EC50)	LC50/Ufs(ACR*種間外挿)	慢性毒性値(NOEC)		NOEC/UF(種間外挿)
190	トリエチルアミン	アミン類	-	-	0.022	1.1	50	7.97		1.1	0.22	34		10.7	2.14	24	0.24			種間外挿のUF: 5 急性から慢性のUF: - 室内試験から野外へのUF: 10